

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路用地管理事業			会計	款	項	目	大	小
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路建設課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	遠藤 茂				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	道路予定用地取得地	意図	工事着工前の道路取得用地に対して、防犯・防災及び安全・環境衛生等に留意し、また、損害保険の加入を行い、適正に管理する。
事業内容	工事着工までの間の取得用地等の適正な管理全般（草刈及び防護柵等の設置、高木剪定、建物損害保険への加入）を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	先行取得した道路用地等を工事着手までの間、適正な管理を実施しており、業務内容については、大きな変化はないが、当該用地を含めた事業着手には計画上の位置付けのない箇所もあり、管理用地の増加も懸念される。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	草刈り業務委託	6,722	5,362	4,893	m ²	↓↓↓	
防護柵設置工事	0	0	0	式	↓↓↓		
高木剪定委託	0	0	0	式	↓↓↓		
区域線図作成	0	1	0	式	↓↓↓		
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						年2回の草刈等の実施及び必要な管理箇所における防護柵の設置をしているが、各管理用地の道路整備事業が着手されない限り、草刈等は、毎年継続されることになる。 道路用地の事業開始の目途が立っていない中、継続した草刈を実施するか、コストを勘案した業務改善（用地の暫定改良等）を実施するか、今後の検討課題である。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,938,218	3,992,265	2,447,185			
事業費(b)(円)		890,168	2,955,765	1,317,685			
うち一般財源		890,168	2,955,765	1,317,685			
職員給与費(c)(円)		1,048,050	1,036,500	1,129,500			
人役・職員(人)		0.15	0.15	0.15			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H27)の改善計画	道路事業の早期事業化。
今年度(H27)に実施した取組	現在管理している道路用地については、早期事業化が困難な状況であり、適正な管理に努めた。

取組の課題	管理を軽減するための道路用地の利活用及び安全管理の検討。
今後の改善計画	事業化の困難な道路用地の有効活用（駐輪場、有料駐車場等）を検討する。